

「とやま環境フェア 2026」へ出展しました！

令和8年10月24日(土)から25日(日)に富山産業展示館（テクノホール）で開催された「とやま環境フェア 2026」に出展し、2日間で約500名の方にブースへお越しいただきました。

今回は、当センター展示の目玉であるデジタル四次元地球儀（ダジック・アース）で、2100年までの気温の変化を紹介したほか、「WBGT（暑さ指数）体験ボックス」を展示しました。WBGT体験ボックスでは、乾燥した「カラッとボックス」と湿った「じめっとボックス」に手を入れて比べると、気温が同じくらいでも、湿度が高い「じめっとボックス」の方が暑く感じる体験ができます。体験した多くの方が、感覚と実際の数字の違いに驚かれ、熱中症対策には暑さ指数が重要であることを実感していただきました。

このほか、センターの仕事を「まもる」「しらべる」「つたえる」の3つに分けて紹介するパネルを展示し、パネルをみながら答える○×クイズも実施しました。

参加いただいた皆さまには、みて、ふれて、体験しながら、楽しく気候変動と適応について学んでいただきました。ご来場いただいた皆さま、ありがとうございました！



環境科学センターブース



ダジック・アースで将来の気温変化を紹介



暑さの違いを比べる WBGT 体験ボックス



どちらが暑く感じたかな？